

令和元年(2019年)9月21日(土曜日)

三島・東街区再開発事業

市債完済最短14年想定

三島市は20日、J R 税などによる増収と新三島駅南口でマンションや商業施設などを建設する東街区再開発事業に充てる市債46億5千万円について、市民

税などによる増収と新三島駅南口でマンションや商業施設などを建設する東街区再開発事業に充てる見通しを明らかにした。市議会一般質問で

の村田耕一氏「公明」への答弁。

市によると、市土地開発公社から寄付される予定の13億5千万円を市の負担額に充て

ると想定し、毎年確保できる見込む再開発事業による市民税や固定資産税の増収2億円、管理費などを除いた駐車場の収入6千万円を全て市債の返済につき込んだ場合、負担額の約8割に当たる市債が14年間で完済できる計算になるとい

このほか、沈久美(新国会)、古長谷稔(同)、岡田美喜子(新未来21)の3氏も登壇した。